



由西小学校

子供は地域の宝 学校は地域づくりの原動力！

山口県教育委員会は、「山口県の地域連携教育とは、人づくりと地域づくりの好循環の創出をめざして、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校と家庭、地域住民、企業・大学等の連携・協働により、郷土への誇りや愛着を育むとともに、子供の豊かな学びや育ちを実現していく教育」ととらえています。『人づくり・つながりづくり・地域づくり』を大切にする営みです。

本号では、“学校を核とした地域づくり”に取り組んでいる由西小学校の“児童・保護者・地域住民の3世代の話合い（熟議）”の様子を紹介します。

【由西小学校】地域の若者(卒業生)が、小学生と地域住民の夢を膨らませる

《学校のねらい》

- ・自分の思いを表現する力を育む
- ・地域の良さと課題を知り、郷土愛を育む

《地域住民の願い》

- ・地域を活性化する具体策が欲しい
- ・郷土愛を深め、担い手を育てたい



《若者(卒業生)の思い》

- ・ふるさとを想い、社会に出た経験を生かして、全国的な視野で、由西地区を情報発信したい



タブレットを使って、由西の良さと自分にできることを堂々と発表する小学生



「地域の価値に気づき、課題を強みに」と訴える卒業生（東京と地元在住の30代）



これまでの活性化の取組と課題を語る「由西を元気にしよう会」会長

【良さ・価値の共有】

- ・自然が豊か、トマト
- ・蛍がいっぱい
- ・カープ練習場がある
- ・神楽がある
- ・人が温かい…



【課題・改善策の検討】

- ・住みやすさを増す
- ・人が賑わう工夫
- ・交通の利便性を確保
- ・空き家の有効利用
- ・人手不足の解消…

【グループ協議の後の 全体協議のまとめ】

新たにつくる・良さを広める・伝統を守るの3項目について協議し、これからの方向性を確認した。そして、全世代で共通して活動することと 世代ごとに活動することを決め、笑顔で閉会した。